

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R8実施 予定有無
1	企画政策部	都市経営室	「長崎×若者」推進費	共催	ながさき若者会議運営プロジェクト	若者から「選ばれるまち」にするため、「若者が楽しむことができる場」、「若者がチャレンジできる場」をつくる。	若者がチャレンジしたいアイデアや企画を引き出し、それを実現につなげるための検討を行い、若者のチャレンジを支援する。それにより、若者が楽しめ、活躍できるまちの実現ができる。	有
2	市民生活部	人権男女共同参画室 生涯学習企画課	長崎市人権問題講演会	共催	長崎市PTA連合会	市民への人権教育・啓発の取り組みとして、市民の人権意識の高揚と人権問題に対する正しい理解を深めるために講演会を実施している。なお、長崎市、長崎市教育局委員会及び長崎市PTA連合会の三者による主催事業として実施している。	人権啓発の視点のみならず、学校や地域における人権教育の視点からも幅広い対象者に向けて実施しており、一定数の参加がなされている。	有
3	市民生活部	文化振興課	ハンドベル教室	共催	長崎ハンドベルコミュニティ	長崎市が練習場所の確保と受講者募集の周知をし、長崎ハンドベルコミュニティが市民を対象に、ハンドベル教室を実施している。	知識や経験が豊富な講師が質の高い指導を行うことで、習熟度が高まり、卒業生が新たなハンドベルサークルを設立したり、既存のサークルに加入するなど、市民の自主的な文化活動の活性化につながっている。	有
4	市民生活部	スポーツ振興課	市民スポーツ・レクリエーション祭開催	共催	公益財団法人長崎市スポーツ協会 長崎市レクリエーション協議会 一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会	市民総参加のスポーツの祭典として、競技スポーツ(陸上競技ほか38種目)やレクリエーション種目を実施。	円滑な運営による行事の成功に加え、参加者からの意見を探り入れることで様々な分野における改善にも成功している。	有
5	市民生活部	スポーツ振興課	長崎新春駅伝開催	共催	公益財団法人長崎市スポーツ協会	市民の健康づくりを目的とし、市スポーツ協会と共催により、長崎新春駅伝大会(一般、高校、中学、小学生の部)を実施。	本市や各加盟団体との連絡・協力体制が確立されており、実施予定の競技における準備から運営までを適切に実施することができた。	有
6	市民生活部	スポーツ振興課	はじめようスポーツ体験教室	共催	公益財団法人長崎市スポーツ協会	子どもがさまざまなスポーツに触れる機会を創出し、スポーツをはじめるきっかけづくりを目的として実施。	本市や各加盟団体との連絡・協力体制が確立されており、実施予定の競技における準備から運営までを適切に実施することができた。	有
7	市民生活部	消費者センター	長崎市暮らしの講座 夏休みこども消費者教室『SDGs★IHクッキング』	共催	九電ネクスト㈱長崎営業所	子どもたちに体験実習を通して賢い消費者としての第一歩を踏み出してもらうことを目的とし、専門の資格を持つ講師による「SDGs★IHクッキング」を協働で開催。	必要な設備がそろった会場の提供や、専門の講師による対応など、この事業については市単独での実施は大変困難。協働することで実施が可能となり、結果参加者にも大変ご好評をいただけた。	有
8	市民生活部	消費者センター	長崎市暮らしの講座 夏休みこども消費者教室「電気をつくってみよう」	共催	九電産業㈱	子どもたちに体験実習を通して賢い消費者としての第一歩を踏み出してもらうことを目的とし、専門知識を持つ講師による「電気をつくってみよう」を協働で開催。	電気に関する実験道具の手配や専門的な知識を持つ講師による対応など、この事業については市単独での実施は大変困難。協働することで実施が可能となり、結果参加者にも大変ご好評をいただけた。	有
9	市民生活部	消費者センター	暮らしの講座「賃貸トラブル防止セミナー」	共催	長崎県宅地建物取引業協会	引越しシーズンを前に、専門家による賃貸物件の契約トラブルなどに関する講座を開催する。また、講演会終了後、個別相談会を実施する。	運営や市民への告知、また、経費の面においても、単独開催よりも効果的かつ効率的に開催できた。	有
10	市民生活部	消費者センター	住宅無料相談会	共催	長崎県住宅リフォーム推進協議会 一般社団法人 長崎県建築士会	毎月第2土曜日に、消費者センター内会議室において、長崎県受託リフォーム推進協議会が派遣する一級・二級建築士や宅地建物取引士、土地家屋調査士など、建築に携わる女性スタッフが住宅建築やリフォームについて市民からの相談に応じる。	住宅の専門家が無料で相談に応じることは、市単独開催では困難。協働することで実施が可能となり、住まいについての市民の悩みについて、より具体的に対応できるようになった。	無
11	福祉部	介護保険課	介護人材確保対策費	共催	長崎市老人福祉施設協議会	長崎市内在住の小学生を対象として、介護の体験学習を行い介護の仕事について学ぶとともに、介護従事者との交流を通して将来の介護職への就職に係る意識の醸成を図るもの。	小学生に介護について興味を持ってもらい、介護職を将来の進路の選択肢の一つとなるように意識の醸成を図ることで、介護人材の確保につながる。	無
12	市民健康部	地域保健課	長崎市精神保健市民公開講座	共催	長崎県精神神経科診療所協会	市民を対象に、精神疾患に対する正しい知識を普及啓発することによりこころの健康の保持・増進を図ることを目的に、精神科医など専門職を講師として招き、全4回シリーズで講座を開催する。	地域の精神医療に携わる専門職と協働することにより、効果的に精神疾患に対する正しい知識を普及啓発することができるとともに自身のこころの健康の保持・増進につながる。	有
13	市民健康部	地域保健課	自死遺族分かち合いの会	共催	特定非営利活動法人自死遺族支援ネットワーク	大切な方を自死(自殺)で亡くされた方を支援するために分かち合いの会を開催。	遺族同士の出会いの場を提供し、互いに語り合うことを通して、悲嘆や苦しみを分かち合い、精神的安定を図ることで、遺族の自殺を防止することにつながった。	有

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R8実施 予定有無
14	市民健康部	健康づくり課	歯科口腔保健計画推進事業 「歯っぴいスマイルフェスティバル」	共催	一般社団法人長崎市歯科医師会	全国的に展開される「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)に一般社団法人長崎市歯科医師会が中心となって実施しているイベントに対し、共催団体として負担金を支出する。これは、市民への口腔衛生思想を普及、啓発するとともに、歯科関係者と市民との交流の場を設けることにより、市民の健康の保持増進を図っている。	歯科に関連する団体が協力し、参加者が楽しく学べるように工夫したイベントを開催したことで、市民に対し口腔衛生思想を普及・啓発することができた。 【H28年度参加者】2,300人 【H29年度参加者】2,400人 【H30年度参加者】2,100人 【R元年度参加者】2,500人 【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【R3年度】新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【R4年度】実施パネル展示の為参加者数未把握 【R5年度参加者】2,800人 【R6年度参加者】3,000人 【R7年度参加者】3,500人	有
15	市民健康部	健康づくり課	長崎市慢性腎臓病(CKD)予防対策「病診連携医」研修会	共催	長崎市医師会 日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社	慢性腎臓病(CKD)予防対策として、かかりつけ医と腎専門医の医療連携により、CKD患者の早期発見、早期治療を推進し、重症化防止を図るためのしくみを整備し、長崎市医師会と共催でかかりつけ医等への研修会を実施している。	平成25年度からCKD病診連携システムを稼働するにあたり、かかりつけ医療機関やコメディカルを対象に研修会を開催している。令和6年度からは連携協定を締結している日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社も共催に加え、企画及び会場の確保は市が行い、案内チラシの作成及び対象者への周知、参加者申込みの取りまとめ等について長崎市医師会とペーリンガーインゲルハイム株式会社の協力を得ながら運営している。 【平成30年度】H31.3.22開催、53名のかかりつけ医が参加 【令和元～5年度】中止 【令和6年度:医師向け】R7.2.19開催、42名が参加 【令和7年度:コメディカル向け】R8.3.18開催、24名が参加	有
16	市民健康部	動物愛護管理センター	動物愛護フェスタ	共催	公益社団法人長崎県獣医師会 長崎支部	毎年9月20日から9月26日までの動物愛護週間行事として、例年、長崎県、長崎市、公益社団法人長崎県獣医師会長崎支部の主催、市内の動物愛護団体の参加協力、報道機関による後援、報道機関のうち1社のアナウンサーによる司会進行協力により、動物愛護思想の普及及び啓発を図るため、動物愛護週間期間中に動物愛護フェスタを開催。また、例年、市内の小学校にチラシやポスターの配布を行い動物愛護に関する普及啓発活動を行っている。 令和7年度は9月23日に長崎県庁エントランスホールにおいて、ながさき動物愛護フェスタを開催した	動物愛護及び管理に関する関係機関及び動物愛護団体等との協働によりイベントを開催。 マスコミの報道等による相乗効果で、動物愛護に関する市民の意識向上が図られている。	有
17	市民健康部	動物愛護管理センター	狂犬病予防集合注射	共催	公益社団法人長崎県獣医師会	狂犬病予防法に規定する狂犬病予防注射について、市内62か所の注射会場を設け、獣医師と共に巡回し、集合注射を実施する。	県獣医師会との協働により、注射会場で予防注射と注射済票の交付が同時に受けられるため、遠くの動物病院へ飼い犬を連れて行く負担が減り、法定義務である狂犬病予防注射の接種率の維持に寄与している。	有
18	こども部	こどもみらい課	長崎市青少年育成協議会活動事例発表会	共催	長崎市青少年育成連絡協議会	青少年育成協議会及び子ども会活動の日頃の成果を発表することで、青少年育成活動の活性化を図る。企画及び実施について、長崎市青少年育成連絡協議会と共催。	地域の青少年育成協議会及び子ども会活動の日頃の活動について発表する機会を設けたことで、地域の育成協議会活動の情報共有ができた。また、青少年健全育成活動の活性化につなげることができた。	有
19	こども部	子育てサポート課	地域親子のふれあい支援事業	共催	長崎市民生委員児童委員協議会 地域の保育所	市内の公民館・ふれあいセンター等を会場に、未就学児とその保護者を対象とした「お遊び教室」を開催し、親子遊びや保護者同士の交流を促すとともに、保護者の育児負担の軽減を図る。	保育士だけでなく、地域の民生委員・児童委員等子育て経験豊富な方々が参加することで、保護者の育児負担の軽減を図ることができた。	有
20	環境部	環境政策課	親子で省エネ実験・施設見学会	共催	九州電力株式会社長崎営業所	九州電力株式会社長崎営業所と共同で、小学生及びその保護者を対象にエネルギーや省エネに関する学習会を開催九州電力株式会社長崎営業所による座学・実験等長崎市が環境施設見学	電気や省エネについて専門的な知識を有する九州電力株式会社長崎営業所と共同して講座を開くことにより、参加者の環境問題に対する理解の向上や意識の醸成をより効果的に図ることができる。	有
21	経済産業部	資源循環課	フードドライブ	共催	メットライフ生命保険株式会社	家庭などで食べきれずに余っている食品や食材を集めて、必要とする人々に無償で提供する社会福祉活動。	フードロスの削減やSDGsに対する意識の向上につながっている。	有

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R8実施 予定有無
22	経済産業部	新産業推進課	Waffle Campホームタウン in 長崎市	共催	メットライフ生命保険株式会社、特定非営利活動法人Waffle	IT分野のジェンダーギャップ解消を図るため、女子中高生向けの1日プログラミング教育(Waffle Camp)を行う。	女子中高生のプログラミングや理系キャリア関心度の向上が期待される。	有
23	文化観光部	世界遺産室	大村高校SSH 文理研究科1 年生 ネクストジェネレーション・ミーティング	共催	大村高校	「軍艦島を今後どうするべきか」をテーマに学生たちが自身の考えをまとめていく研修を大村高校などと共同で開催。	大村高校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、筑波大学附属駒場中・高等学校などの生徒が、事前学習をもとにした発表や軍艦島周遊クルーズ、文化庁や島民など様々な立場からの軍艦島に関する講義を通して、軍艦島に対する理解向上の効果が期待できる。	有
24	水産農林部	水産農林政策課	長崎「食」の晩餐会	共催	NPO法人 長崎の食文化を推進する会	長崎ならではの食材の活用及びPR並びに新たな食文化の創造を目的として、NPO法人長崎の食文化を推進する会と連携し、季節の旬の食材を使用したフランス料理を市民に親しんでいただく「長崎『食』の晩餐会」を実施する。 《使用する食材》 【6月】「長崎和牛・出島ばらいろ」 【12月】「長崎和牛・出島ばらいろ」 【2月】「ゆうこう」	NPOと連携し、市民や観光客に長崎ならではの食材の魅力を伝えることができた。	有
25	水産農林部	水産振興課	鯨のまち長崎PR事業	共催	長崎くじら食文化を守る会 一般財団法人日本鯨類研究所	長崎に古くからある「鯨食文化」を次の世代へ継承することを目的に、長崎くじら食文化を守る会と連携して、「親子で学ぶ！くじら食文化教室」を実施した。 【実施日】 「親子で学ぶくじら食文化教室」：令和4年8月20日（土）	長崎くじら食文化を守る会と連携し、子ども及び親子向けのイベントを行うことで、広く鯨食文化の継承を行った。	有
26	水産農林部	水産振興課	旬の魚イベント拡大支援費	共催	各漁協	市内各地の直売所・朝市等で開催される旬の魚をメインとした直売イベントや、地元の料理店で旬の魚の料理メニューを一定期間提供する旬の魚料理フェア、海の体験イベントの開催を支援することで長崎の魚の認知度向上及び消費拡大、魚価の安定、地域の活性化を図る。	イベントの広報にかかる費用を助成することで、イベントの周知が図られ、長崎の魚の知名度向上、消費拡大につながっている。	有
27	まちづくり部	まちなか事業推進室	アディショナルタイムin思案橋	共済	思案橋横丁会、株式会社V・ファーレン長崎	V・ファーレン長崎のホームゲーム後に思案橋で長崎くんちの体験やV・ファーレン長崎OBIによるスペシャルトークライブなどのイベントを官民連携して開催した。	官民が連携して実施したことで、隣接商店街やチームの新たな繋がりができ、くんち等長崎要素を取り入れたことで、まちの賑わいが創出され、魅力向上に寄与した。 【集客数】：約300名	有
28	まちづくり部	まちなか事業推進室	さざなみひろばオープニングイベント	共済	浪の平まちづくり協議会、さざなみひろばオープンイベント実行委員会	広場の完成を記念して、セレモニーや出店、餅つき大会、フリースロー大会などを官民連携して開催した。地域内外に周知するとともに、地域主体による今後の利活用促進を図った。	当該イベントを通じて、地域内外の多くの方に当該地が認知され、地域住民の暮らしの充実及び賑わい創出が図れた。	無
29	まちづくり部	まちなか事業推進室	みんな集まれ！まちぶら広場	共催	中通り商店街振興組合	中通り400周年を記念し、また、まちぶら広場の活用促進に向け、「子ども達が楽しめるイベント」をテーマに、マルシェ、カレーライスの無料配布（小学生以下）、体験コーナーを実施。	当イベントの開催準備を通じ、地元自治会、商店街、小学校と意見交換を行い、新たな連携が生まれた。また、当日は多くの子連れが訪れ、賑わいが創出された。	無
30	中央総合事務所	茂木地域センター	茂木クリーン作戦	共催	茂木愛創会	茂木に住んでいる人、働いている人の仲間づくりと茂木を美しくきれいなまちにすることを目的に清掃活動を行う。地域で働いている人や住民に呼びかけ、清掃活動を開始し、団体を立ち上げたもの。	・地域団体や地域住民の親睦と融和が図られた。 ・住民参加による郷土愛の醸成が高まった。 ・ゴミが減り、草刈りが適正に行われることにより環境美化が図られた。	有
31	南総合事務所	南総合事務所地域福祉課	第10回ツール・ド・ちゃんぼん in長崎のもざき恐竜パーク	共催	ツール・ド・ちゃんぼん 実行委員会	R3年までは伊王島を発着としていたが、R4年からは恐竜パークを発着とし、新たに100kmを超えるコースも加えた4つのコースを設け、約600名の参加者を迎えて野母崎、三和、深堀、香焼、伊王島、土井首の南部地域を自転車で周遊する。休憩場所であるエイドステーションでは、県内の特産品をご賞味いただき、地域の風景を楽しみながら、自然あふれる南部地域の魅力を伝え、多くの参加者を誘致することで、地域の活性化を促す。	地域の団体などもエイドステーションの運営など協力をいただくなど、多くのボランティアスタッフが協力し無事に大会を運営できた。また、美しい海を望むコースをサイクリングすることで、参加者に南部地域の魅力を伝え、地域の活性化に寄与することができた。	有

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R8実施 予定有無
32	北総合事務所	北総合事務所地域福祉課	琴海・三重・外海ふれあいフェスタ	共催 →協議会・実行委員会	琴海・三重・外海ふれあいフェスタ実行委員会	北総合事務所管内の文化・芸能の発表の場を設け、3地区の交流促進と活性化を図る。 (R7実績) R8.1.18開催 参加人数約740人	小中学校及び公民館自主活動(生涯学習)グループの作品が一同に展示されたことによって、3地区の住民が見学され、出展者同士の交流も図られた。 また、この発表の場が設けられたことで、芸能グループの活動が活発になり、伝統芸能の継続・維持にもなった。	有
33	消防局	予防課	市民防火のつどい・婦人防火クラブ長崎地区大会	共催	長崎市女性防火クラブ連絡協議会 長崎市消防団 長崎市少年消防クラブ 長崎市幼年消防クラブ 長崎市自衛消防隊連絡協議会 長崎市危険物安全協会 日本防火防災協会	毎年11月頃、消防局や長崎市女性防火クラブ連絡協議会等との共催により、女性防火クラブ員をはじめ、幼年消防クラブや自主防災組織員など約500名が一堂に会し開催している。各団体の活動事例について発表がなされ、それぞれの活動について知ることができ、日頃の活動の参考になっている	女性防火クラブ員や地域で防火防災に携わる方など約500名が参加し、防火意識の啓発と会員相互の親睦を図ることができる。本防火のつどいを開催することにより、各クラブ員の自主性と連帯意識の向上につながり、ひいては「自分達のまちは自分達で守る」という積極的な防火防災活動につながっている。	有
34	教育委員会	生涯学習企画課	デジタルお悩みサポート事業	共催	NPO法人まちラボ	NPO法人まちラボと協働し、公民館で講座を実施し、受講後のアフターフォローに取り組むことで、高齢者を中心とした情報弱者の支援を行う。	市内各所の公民館で講座を開催し、相談体制を整えることで、公民館に行けば、ITの困りごとが相談できることが市民に知られ、公民館がこれまで以上に市民に身近な場所になり、公共施設の価値が向上していくと考えられる。	無
35	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局	明るい選挙推進事業～グラウンド・ゴルフ／ベタンク大会	共催	長崎市老人クラブ連合会	明るい選挙の推進と政治意識の高揚を図るため長崎市老人クラブ連合会などと共同で開催。	市内全域の各老人クラブの会員達がスポーツを通じて交流を深め、さらには大会を通じて選挙への投票呼びかけを行うことで、健康増進と投票率向上の効果が期待できる。	有
36	原爆被爆対策部	被爆継承課	ミライの平和活動展	共催	東京大学大学院渡邊英徳研究室 NIB長崎国際テレビ	VRやデジタルツイン、AIによる写真のカラー化・動画化などの最新テクノロジーを活用した、あたらしい平和学習コンテンツを長崎原爆資料館で展示。 開催期間 令和7年8月11日(月・祝)～17日(日)	最新のテクノロジーを活用して原爆の被害を遠い昔の出来事ではなく、今の自分にも起こり得ることとして、被爆の実相を効果的に伝えることができるものであるとともに、若い世代が、長崎の記憶を未来へ繋げる意識を持つきっかけとなるもの。	有
				件数 36				30